



古賀総合病院 広報誌



KOGA

Vol.41

2025 年 10 月号

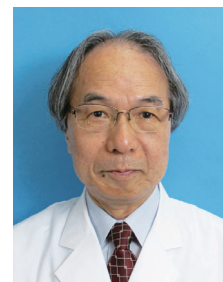


TOPICS

- あいさつ 社会医療法人同心会 古賀総合病院 副院長 緒方 克己
- 登録医の紹介 アイ内科クリニック 院長 河野 敦子 先生
- 院内ニュース 診療科紹介 血液内科
- 手術支援ロボット「ダヴィンチ」手術実績 50 例達成
- 部長就任挨拶・新任医師挨拶
- 第 2 回 KOGA 医療体験フェスタ



古賀総合病院 副院長
介護老人保健施設「春草苑」施設長 緒方 克己



昭和100年の今年も10月となり年末が近づき、いつもながら月日の流れの速さを感じる毎日です。近年の地球温暖化に伴う異常気象で地球上の各地で大規模な山林火災や相次ぐ線状降水帯発生による自然災害や人命を犠牲にした紛争・戦争の惨禍を伝えるニュースを聞いた時に、平和が得られない状況にやりきれない思いです。

今年の「敬老の日」を前に厚労省の発表では、全国の100歳以上の高齢者は過去最多の9万9763人との事です。宮崎県の発表では県内の100歳以上の高齢者は1225人でこれまで最多とのことです。男性128人(前年比2人減)、女性1097人(同)38人増)。人口に占める65歳以上の割合は(昨年10月現在)は県全体では34.0%(全国平均29.3%)で前年より0.3ポイント上昇、65歳以上の高齢者は33.6%を占め、人口の3.1人に1人が65歳以上、6人に1人が75歳以上となっています。厚労省によると、100歳以上の高齢者は調査が始まった1963年は全国の100歳以上の高齢者153人で81年に千人を突破し98年に1万人を超え、2024年の日本人の平均寿命は女性が87.13歳、男性が81.09歳となっています。85歳以上の増加や人口減少がさらに進む2040年に向けて目指すべき医療・介護の提供体制構築のため「新たな地域医療構想に関する取りまとめ」が昨年12月に公表されています。高齢者医療における「治し支える医療」の重要性が強調され、「地域完結型の医療・介護提供体制構築の必要性」が指摘され、老健施設としても真剣な取り組みが求められると思われます。

わが国の介護老人保健施設(老健)は1988年に制度設計され本格的にスタートしていますが、老健「春草苑」は古賀総合病院が駅前から池内町へ新築移転した2年後の1996年4月に開設し29年、介護保険法成立(1997.12)後の介護老人保険施設として28年を経過しました。介護老人保険施設の役割と理念は「利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。」となっています。当施設ではその理念のもと「在宅復帰を目指す」基本方針で認知症ケアや終末期ケアを配慮した対応にも取り組んできましたが、この所 高年齢の利用者増加に伴い慢性疾患・生活習慣病の延長線上にある合併症の維持管理や急性期病態への対応が多くなり協力病院である総合病院への診療依頼や相談も増加しています。老健が制度設計された当初とは寿命や社会情勢は大きく変化しており、制度や人生の在り方についても見直しが求められているように思います。「人生の最終段階の医療」の在り方について考えることは便利になった世の中でこそ必要と思われますが一方、難しさを感じます。

今後人生を懸命に歩んで来られたそれぞれの「いのち から いのちへのリレー」に寄り添いお役に立てる様取り組んで参ります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

アイ内科クリニック

〒880-0212

宮崎県宮崎市佐土原町下那珂 3574

TEL : 0985-75-0307

診療科目

消化器内科・胃腸内科・糖尿病内科・内分泌内科



院長 河野 敦子 先生

酷暑の夏もようやく過ぎようとしています。古賀総合病院の皆様におかれましては、さぞかしお疲れの日々であったことと思います。いつも快く患者様をお引き受けいただき、本当に感謝しております。

当院は2022年4月1日に、佐土原町旧十号線の道沿いに開院いたしました。私自身は、20年以上前に、高鍋町で父の病院を継承し開業していた経験があり、2度目の開業となります。その間私は母校である大阪医科大学の大学院に所属し、京都府立医科大学分子標的がん予防医学研究室で腸内細菌研究を行っておりました。サンプル収集のため、相当数の内視鏡検査を行うこととなり、貴重な経験をさせていただいたと思っています。12年前に母の体調不良を契機に宮崎に帰郷。善仁会市民の森病院消化器内科を経て、宮崎善仁会病院に勤務させていただきました。瀧砂重仁先生をはじめ、故関屋亮院長、消化器内科部長である宮田義史先生ほか、善仁会病院の先生方には本当にお世話になりました。また開業に際し、それまで医局で机を並べていた糖尿病科の黒木由美先生が、一緒に仕事をしてくれることになり、当方が総合内科・消化器内科・内視鏡を、また黒木医師が糖尿病専門外来を担当させていただいています。二人体制であるため診療の幅も広がり、日々学びがある環境にいることをありがたく感じています。二人とも医師となつてからの年数が、人生の半分以上となりました。医療者として貢献できる時間を大事にして、地域医療を担っていきたいと思っています。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。





当院血液内科は、県内に5つある日本血液学会認定施設の一つであり、2023年の学会の血液疾患症例登録数は152例で、県内2番目の規模を有しています。これは、日頃より多くの先生方にご紹介・ご相談をいただき、地域と連携しながら診療を進めてきた賜物であり、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

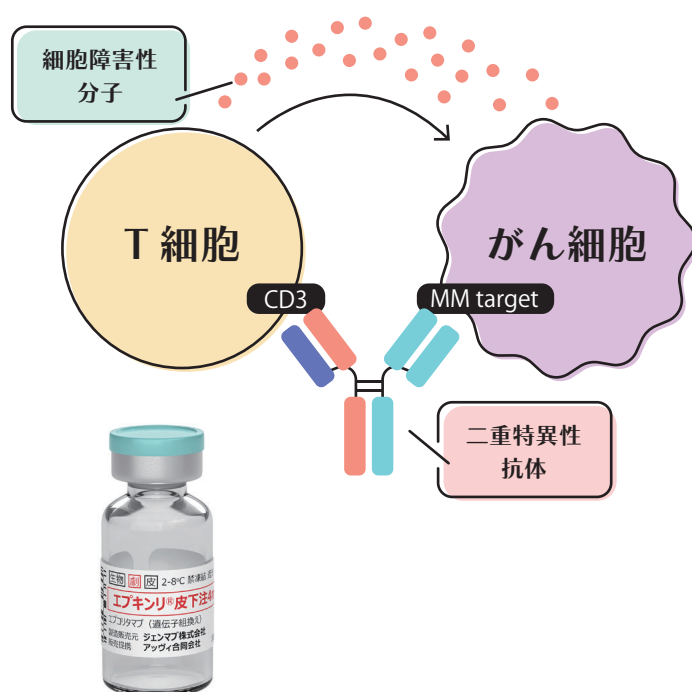
免疫療法(特に二重特異性抗体薬)について

免疫療法は、患者さん自身の免疫を活性化してがん細胞を攻撃させる新しい治療戦略であり、血液内科領域でも近年急速に普及しています。特にCAR-T細胞(キメラ抗原受容体-T細胞)療法と二重特異性抗体薬で代表されるT細胞を利用した治療は、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、濾胞性リンパ腫、多発性骨髄腫、B細胞性急性リンパ性白血病へと適応が拡大され、大きな注目を集めています。

CAR-T細胞療法は、患者さんから採取したT細胞に遺伝子改変を加え、がん細胞を特異的に認識する受容体を導入したうえで再輸注することで、従来の治療に抵抗性を示す症例に対しても高い効果を発揮します。ただし、施設基準が厳しく、宮崎県内では宮崎大学病院のみが実施可能施設となっています。

一方、二重特異性抗体薬は、がん細胞とT細胞を同時に結びつけることで、体内のT細胞を即時に活性化し、細胞障害性分子などでがん細胞を攻撃させる仕組みを有します。全身状態が良好であれば80歳代でも投与可能であり、臨床試験では再発・難治例に対して高い奏効率を示し、深い寛解に到達する症例も報告されています。CAR-Tが約2か月の個別製造期間を要するのに対し、二重特異性抗体薬は通常の化学療法と同様に点滴静注あるいは皮下注で汎用的に随時投与可能で、入院期間も2週間程度と比較的短いため、市中病院を中心に導入が拡大しています。当院でも免疫療法、特に二重特異性抗体薬の導入を進めており、今年は3症例に施行しました。

今後も多くの症例経験を積んで安全性と有効性に十分配慮しながら、治療提供体制を整えてまいります。引き続きご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



手術支援ロボット「ダヴィンチ」手術実績 50 例達成

外科 上原 拓明

手術支援ロボット「ダヴィンチxi」の手術実績が、2025年8月26日で50例を達成しました。

2024年11月より外科領域で「結腸悪性腫瘍切除術」、12月に「直腸切除・切断術」を開始。2025年2月には泌尿器科領域で「前立腺悪性腫瘍手術」を新規導入。4月には外科領域で、「胃切除・胃全摘術(単純・悪性腫瘍手術)」へと、ロボット支援下手術の適応を拡大してきました。

今後は、宮崎県で初の導入となる、「膵体尾部腫瘍切除術」、「肝切除術」へと適応を広げるべく準備を進めております。

当院では、医師、看護師、臨床工学技士を含む多職種が一丸となって、安全で質の高い手術を提供し、地域の皆さまの健康と安心に貢献してまいります。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



手術件数累計50例
(2024年11月～2025年8月26日)

結腸	
下行結腸部分切除	3
左半結腸切除	2
S状結腸切除	10
直腸	
高位前方切除	4
低位前方切除	16
超低前方切除	1
直腸切断	1
胃	
幽門側胃切除	3
前立腺	
前立腺全摘	10

令和 7 年度救急医療事業者功労者知事表彰で表彰されました

2025年9月8日「令和7年度救急医療事業功労者知事表彰式」が宮崎県庁で行われ、当院の今村医師(名誉院長)が表彰を受けました。

この表彰は、救急医療対策の維持発展に功績のあった団体および個人に対してなされるもので、当院の医師や看護師をはじめとした全職員による日々の現場での救急体制が評価されたものと思われます。

今後とも職員一丸となり、救急医療を含めた地域医療に貢献して参ります。



部長就任挨拶



内分泌代謝内科
診療部長

まつお たかし
松尾 崇

2025年10月1日付で内分泌代謝内科診療部長を拝命いたしました松尾崇です。当科は甲状腺や糖尿病疾患を中心とした診療科であり、歴史的には栗林忠信先生が中心となり築き上げられ、それを前部長である日高博之先生が引き継いでこられた伝統ある診療科です。この度は大役を拝命し、身の引き締まる思いであり、よりいっそう地域医療に貢献できるよう全力で努めてまいります。また当院糖尿病委員会運営における他部署スタッフとの連携、糖尿病患者様が参加する当院主催のイベント開催、さらに診療における当院や他病院の先生との連携など、皆様のご協力なしには取り組めないことも多々ございます。ご指導とご協力を何卒よろしくお願いいたします。末筆ではございますが、宮崎県医療のますますの発展、ならびに患者様のご健康とご多幸を心よりお祈りし、就任挨拶といたします。

新任医師挨拶



整形外科
医長

いずみ としひこ
泉 俊彦

2025.10月より勤務させて頂いている整形外科の泉 俊彦と申します。高鍋高校出身で鹿児島大学へ進学し、これまで鹿児島中心に離島医療から三次救急、大学診療まで経験し研鑽してまいりました。2021年より宮崎大学医局に移り宮崎県内で勤務させていただく中で宮崎の医療状況を学ばせていただきました。今回入職にあたり、前任の石原先生が取り組んでこられた予防医療も継承しつつ、総合病院の強みも活かしながら一般外傷(骨折等)や変性疾患の保存治療から手術治療(膝骨切り手術や肩・股。膝人工関節含め)まで対応出来る診療体制を構築できればと考えています。また自分の専門性を活かし肩腱板損傷に対する関節鏡下手術や、アスリート含めリハビリによるコンディショニングトレーニングや必要に応じた手術介入により痛みの予防、パフォーマンス向上、健康寿命の延伸を目指していきたいと考えています。現在そのための診療環境構築に鋭意取り組んでおりますのでどうぞこれからよろしくお願いいたします。

【2025年9月末退職医師】

石原 善三郎

第2回 KOGA 医療体験フェスタ

古賀総合病院 広報担当です。

当院では、2025年8月23日(土)に医療に興味を持ってもらうため、中学生を対象とした第2回 KOGA医療体験フェスタを開催しました。34名の中学生が参加し、医師、看護師、助産師、薬剤師、診療放射線技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の体験を行いました。

医師では、腹腔鏡手術機器を使用して、モニターを見ながらビーズや輪ゴムを掴み腹腔鏡手術の体験、看護師、助産師では、実際に個人防護具の着用、人形を使用しての沐浴体験やバイタルチェック体験、臨床検査技師では、顕微鏡を使って血液細胞と細菌の観察、超音波治療装置を使用してエコー検査を体験しました。

薬剤師、診療放射線技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士では、実際に検査や業務を行っている場所で体験をしました。

薬剤師では、軟膏とクリームを混ぜ合わせての軟膏調剤体験、お菓子を薬に見立てての調剤体験や一包化体験、臨床工学技士では、呼吸についての説明や人工呼吸器、バイパップを実際に操作しました。診療放射線技師では、診療放射線技師の説明や一般(X線)装置の使い方、黒い箱を一般(X線)装置にセットし、職員が実際に一般(X線)撮影をした後、箱の中に何が入っているかを当ててなど思考を凝らした内容でした。理学療法士では、車いすを自走しての車いす体験、作業療法士では、体が不自由な方が片手でも楽に食事しやすくするための自助具を使用して自助具の必要性を体験、言語聴覚士では、実際にとろみ剤を使用して嚥下体験しました。

参加した中学生からは、「普段できないような体験ができてとても楽しかったです。難しいこともたくさんあったけどいい経験になりました。将来の夢が決まっていなかったのですが、医療系の仕事をしたいと思いました。資格を取るために勉強を頑張ろうと思います」など感想を聞くことができました。

今回、いろいろな職種を体験してもらいました。これからもこの活動を継続したくさんの方が将来、医療の世界で働きたいと思ってもらえたらと思います。



【医師】



【看護師】



【薬剤師】



【診療放射線技師】



【臨床工学技士】



【臨床検査技師】



【作業療法士】

地域医療連携室からのご案内

<今後の研修予定>

◎ 研修のご案内は随時お知らせしてまいります。

* お問い合わせ直通:0985-39-8952 FAX:0985-39-0372 Email:kgh-renkei@kgh.or.jp

* 受付時間:平日 8時30分 ~ 17時00分

<お知らせ>

◎ 泌尿器科は予約制です。患者さんから病院あてにお気軽にご連絡ください。(※)

古賀総合病院代表:0985-39-8888

◎ 消化器内科、内分泌代謝内科、呼吸器内科は予約制です。

患者さんから内科外来あてにお気軽にご連絡ください。(※)

内科外来直通:0985-39-0412

受付時間:平日 14時00分 ~ 17時00分

※ 急患に関してはこの限りではありません。

お知らせ

日頃より、当院をご利用いただき誠にありがとうございます。

このたび、診療体制の変更に伴い、皮膚科初診対応につきまして、令和7年10月20日より予約制とさせていただきます。誠に申し訳ございませんが、何卒皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

予約は電話にて承ります。

【代表番号】0985-39-8888 (平日 14:00~17:00)

皮膚科
ホームページはこちら



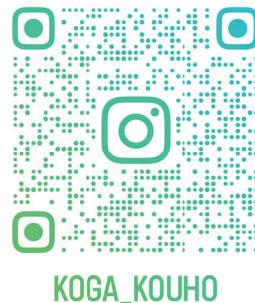
お知らせ

平素より古賀総合病院をご利用いただきありがとうございます。

このたび、当院の公式Instagramアカウントを開設いたしました。

当アカウントでは、病院からのお知らせや院内での取り組みなどを発信してまいります。

より多くの皆さまにとって信頼される医療機関を目指してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



関連施設

【介護老人保健施設 春草苑】

〒880-0041 宮崎市池内町数太木 1749-1

TEL 0985-39-8899 FAX 0985-39-8978

【フィオーレ KOGA】

〒880-0812 宮崎市高千穂通 2-7-14

・古賀駅前クリニック (1F)

TEL 0985-22-2111 FAX 0985-23-9598

・古賀駅前クリニック健診センター (2F)

TEL 0985-22-2112 FAX 0985-32-0317

・メディカルフィットネスフィオーレ (3F)

TEL 0985-22-2113 FAX 0985-22-2791

【古賀在宅ケアセンター】

〒880-0041 宮崎市池内町数太木 1763-3

・古賀訪問看護ステーション あおぞら

TEL 0985-39-8127 FAX 0985-39-9160

・居宅介護支援事業所 古賀ケアプランセンター

TEL 0985-39-9150 FAX 0985-39-9160

【フィオーレ KOGA 看護専門学校】

〒880-0879 宮崎市宮崎駅東 2 丁目 2-10

TEL 0985-38-8010 FAX 0985-38-8020

発行元：古賀総合病院 庶務課 2025 年 10 月発行

〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町数太木 1749-1

TEL 0985-39-8888 FAX 0985-39-0067

E-mail info@kgh.or.jp